

第30回「議員と語りかい」報告書

1班 (No.1)

開催日	令和元年 5月13日(月) 午後7時 ~ 8時30分		
開催場所	川原公民館		
団体名	川原地区自治公民館	参加人員	12人 (男10人:女2人)
出席議員	山口 仁美、山田 龍治、有村 隆志、厚地 覺、池田 守、宮内 博		
役割分担	班 長 (有村 隆志) 副班長 (山田 龍治) 記録係 (宮内 博)		
テーマ及び具体的な内容			

意見交換での主な意見等	◆は参加者の発言 ◇は議員の発言
	◆拓美造園の下の大木の倒木があった。市には倒木の対応はして頂いたが、空洞があり、雨季を前に土砂崩れが心配だ。 ◇執行部に見てもらおうよう要請する。
	◆年3回ヤブ払いをしている。道路に雑木が茂っている。シルバー人材センターで伐採して頂いているが、もっと根元から切って欲しい。 ◇多くのところから要望がある。所有者の許可が必要となる場合もあり、要望を伝えたい。
	◆道路が広くならないのかと思う。自衛隊の車両が以前より大きくなっている。すれ違う時が危ない。道路整備は、5年~6年前から要望している。防衛省の事業を取り入れて欲しい。
	◆道路拡幅は10年以上前から要望している。演習場を利用しているのは国分自衛隊だけではなく熊本からも来ている。大型車両を規制するなど要望しているが、学童の通学前の午前7時頃前から来ているので時間帯規制を考えて欲しい。道路拡張を要請しているが「車が少ない」と言われた。九州に4箇所しかない実弾演習場だけに演習回数が増えている。 ◇防衛省予算で対応できないか国会議員にも要請したい。 ◇これまでの市の対応経過もあるようだ。新たな状況を伝える。

◆は参加者の発言 ◇は議員の発言

◇自衛隊の車両が大きくなって交通量も増えているとのこと。環境が変わっているので、「可能性があるか」も含め要望する。

◆ドクターヘリが降りる場所がない。公民館の広場も照明があって降りられないようだ。だから、道路の拡張を要望している。道路が狭いことがネックになっている。街の近くにありながら「住みづらい」との意見がある。

◇ドクターヘリの降りる場所は、市内に10箇所以上ある。自衛隊の事を聞いたので、強く要望していきたい。市も要望があったところは現場を見ている。その中で、優先順位をつけて事業を行っている。我々も粘り強く要望する。

◆友人を観光地に案内したが、雑草が繁茂している。もっと観光地として整備して欲しい。丸尾の滝に柵が設置されていて残念だった。

◇丸尾滝周辺は雑草撤去を以前から要望している。丸尾滝は観光地であり、早速要望する。

◆地域活性化をどうするかと考えているが、将来ビジョンや地域をどうするかของ想いが伝わらない。市の姿勢が見えない。利用しやすい住宅の整備など市単独で出来ないか。やる気のあるところに助成して頂ければと思う。

◇低所得者むけの公営住宅ではあるが、先進事例を参考に取り組むよう提案している。過疎地域へのコミュニティづくりでは、古民家を改修して「チャレンジショップ」を開いている事例もある。その地区になじめる仕組みをどうつくるか考えていきたい。

◇魅力のある地域づくりをお願いしたい。いいコミュニティがあると若い層に広がる。

◇鹿屋市のやねだんでは、一人の熱心な方が強力に取り組んでできたことだ。若い人のライフスタイルも変わってきている。このような機会で見聞を出し合いたい。

◆後継者が帰ってきたいと思っても道路から上は（急傾斜地のため）危険であり、新しく家は建てられない。田んぼは農振地域で規制されている。家を建てられる政策を進めて欲しい。新しい家が建てられる地域にして欲しい。

◇地域事情も含め提案したい。

意見交換での主な意見等